

● 天草ビジターセンター・  
天草展望休憩所

## AMAKUSA VISITOR'S CENTER, SERVICE HOUSE

雲仙天草国立公園の東の玄関口。  
この施設は、  
観光客に対する国立公園の  
インフォメーション機能を持つ  
ビジターセンターと、  
ティーラウンジ、物産ショップがある  
展望休憩所の2棟で構成されている。  
アプローチを上がり、  
玄関の前に立つと  
棟の間から天草の絶景が  
目に飛び込んでくる。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県

くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木部建築課 〒962-70 熊本市水前寺6-18-1  
☎096-383-1111(6215)

海側の壁面いっぱい  
開かれた窓からも、  
最高の展示物である  
大自然を望むことができ、  
これから訪れる天草の歴史や風土を  
楽しく学ぶことができる。







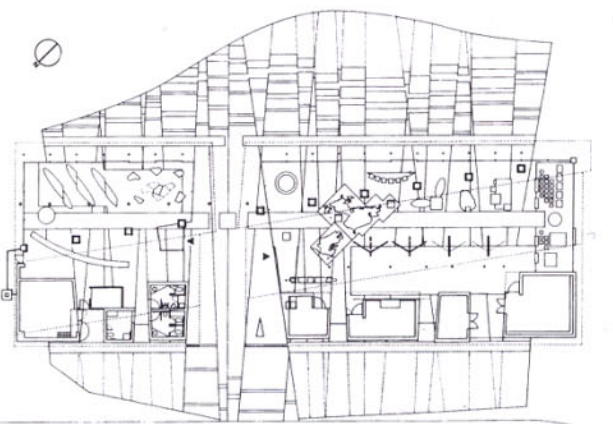
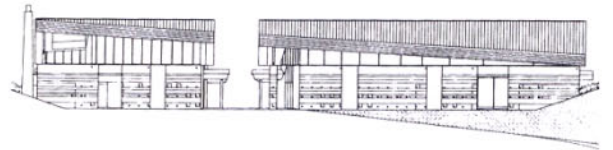
● 建築概要

この建物の屋根ラインは、国立公園である天草松島の景観にとけ込むよう、島の稜線に合わせたものである。館内から眺める美しい群島の景色をここでの第一の展示物と考え、海側には壁を一切設けていない。壁や床に埋め込んだり、取り付けた石は、すべて天草各地で採集した自然の標本である。この施設には定められた順路や楽しみ方はない。干潟で潮干狩りをしたり、野山の散策を楽しむように、来館者が自由に興味の対象を発見してほしいと考えた。車から降りてこの敷地一帯を散歩すること自体が、天草の風物や自然に触れる一端となっている。

● 建築データ

名称/天草ビジターセンター・天草展望休憩所  
 所在地/天草郡松島町  
 主要用途/展示施設、休憩施設  
 事業主体 ビジターセンター/熊本県  
 展望休憩所 /松島町  
 設計者/古谷誠章+中川建築設計事務所  
 施工者 建築/山口工務店、渡辺建設  
 電気/鶴電気設備工業所、西本電機  
 衛生/天草設備、西山電設  
 敷地面積/11,411㎡  
 建築面積/761㎡  
 延面積/654㎡  
 階層/1階建  
 構造/鉄筋コンクリート造+鉄骨造+木造  
 外部仕上 屋根/カラーステンレス瓦棒葺  
 +特殊非加硫ゴム付カラーステンレス  
 外壁/化粧コンクリート打放し一部合津石  
 貼り  
 施工期間/1993年11月～1994年7月(展示部分を除く)  
 総工事費/382百万円(展示部分を除く)

立面図



平面図



● 建築家プロフィール

古谷 誠章 (ふるや のぶあき)

- 1955年 東京生まれ
- 1978年 早稲田大学工学部建築学科卒業
- 1980年 早稲田大学大学院博士前期課程修了  
早稲田大学穂積信夫研究室助手
- 1983年 早稲田大学工学部助手
- 1986年 近畿大学工学部講師、文化庁芸術家  
在外研修員としてマリオ・ボッタの  
スタジオに在籍
- 1990年 近畿大学工学部助教授
- 1994年 早稲田大学工学部助教授、スタジオ  
オ・ナスカを開設

● 主な作品

狐ヶ城の家、田野畑村民俗資料館、ささき別荘。

● 受賞歴

1991年吉岡賞 (JA house新人賞)